



※「ガッチャンコ」とは…
「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。
HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたい
という願いがこめられています。

2021年6月17日

「アート×コミュニケーション=キース・ヘリング」展

開催まで残り1カ月！

前売券好評発売中！



無題 1985©Keith Haring Foundation

中村キース・ヘリング美術館蔵

HBC 北海道放送、札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）は、アンディ・ウォーホルやジャン＝ミシェル・バスキアらと共に 80 年代アメリカ美術を代表するアーティスト、キース・ヘリングの作品に焦点を当てた世界で唯一の美術館、中村キース・ヘリング美術館の貴重なコレクション展「アート×コミュニケーション=キース・ヘリング」展を、札幌芸術の森美術館で 2021 年 7 月 17 日（土）～9 月 26 日（日）に、開催します。

開催まで残り1か月となり、当日券より200円お得な前売券も各プレイガイドで好評発売中です。

また、チラシ、ポスターを配布、設置して下さる「展覧会サポーター」も募集中です。前売券、募集などの最新情報はHPほかHBC事業部公式Twitterをご覧ください。

HBC 事業部 Twitter



キース・ヘリング展 HP



世界的にも貴重な約 160 点のコレクション展

本展覧会では、山梨県小淵沢にある中村キース・ヘリング美術館が所蔵する世界的にも貴重なコレクションから絵画、彫刻、ポスターなど約160点が一堂に会します。

単純な線で即興的に生み出されたヘリングの描く人や動物などの作品は、ストリートカルチャーのアイコンとして、今なお人々に愛されており、現在もファッションブランドなどとのコラボレーションが後を絶ちません。

「アートを通じてコミュニケーションをしたい」

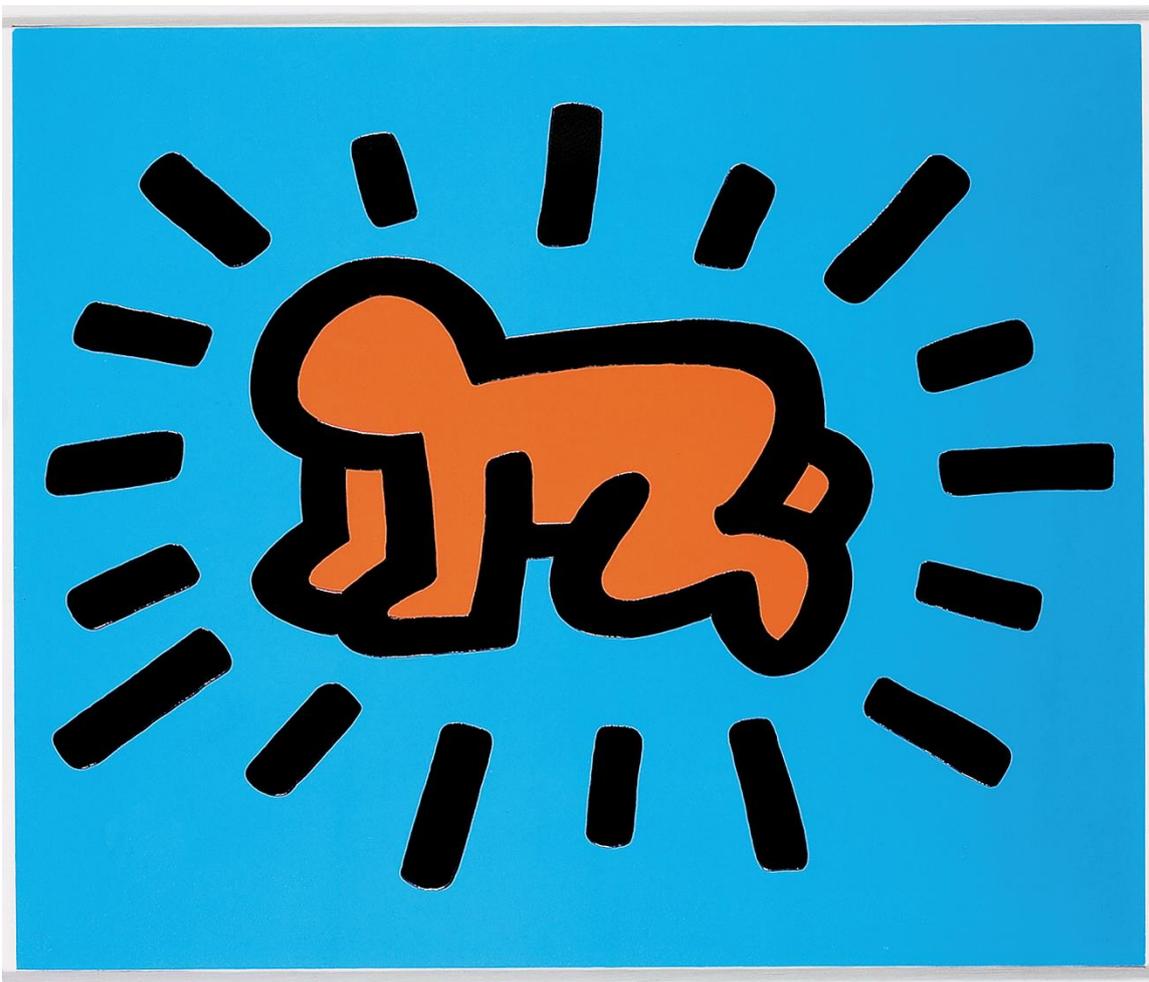
1990年に31歳の若さでエイズによる合併症のためこの世を去ったキース・ヘリングは、「アートを通じてコミュニケーションをしたい」と語り、アートのかで人々を勇気付け、社会が抱える様々な問題に立ち向かいました。ヘリングの作品は、現在の新型コロナウイルス感染症で物理的にも精神的にも分断された人々の溝を埋め、より一層の輝きを放つことでしょう。

●開催概要

- 展覧会名： 「アート×コミュニケーション=キース・ヘリング」展（和名）
Art×Communication=Keith Haring（英名）
- 期 間： 2021年7月17日(土)～9月26日(日)
- 会 場： 札幌芸術の森美術館（札幌市南区芸術の森2丁目75番地）
- 料 金： 一般:1,500円(1,300円) 大学・高校:800円(600円) 小・中学生500円(300円)
※()内は前売料金。当日券の200円引き。各プレイガイドで発売中。
- 主 催： 札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、HBC北海道放送
- 後 援： 在札幌米国総領事館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会
- 協 力： 中村キース・ヘリング美術館、ヤマト運輸、
日本理化学工業、大丸藤井セントラル
- H P： <https://www.hbc.co.jp/event/keithharing/>

《キース・ヘリング Keith Haring 1958~1990》

アメリカ・ペンシルベニア州生まれ。20歳でニューヨークに移る。地下鉄構内の広告板を使った〈サブウェイ・ドローイング〉で一躍有名に。1980年代のアメリカ美術を代表するアーティストとして、絵画のみならず彫刻、アニメーション、舞台デザイン、絵本、レコードジャケットなども手掛けた。1986年にはオリジナルグッズを販売する「ポップショップ」をニューヨークに開店。1988年には東京・青山にも「ポップショップ東京」を開店するなど日本との関りも深い。人気絶頂のさなか、31歳でエイズによる合併症のため死去。



アイコンズ(ラディアント・ベイビー) 1990©Keith Haring Foundation

中村キース・ヘリング美術館蔵